

## 2014年度 國學院大學法科大学院

### 《3月特別法律科目試験》

# 民 法

#### ● 注意事項

- 1 試験時間は、12時30分から13時30分までです。
- 2 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 3 解答用紙への記入は、黒もしくは青インクのボールペンまたは万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）を使用してください。これ以外のものを使用した場合は、無効となります。
- 4 訂正をする場合は、明確に線で消してください。修正液等は、使用しないでください。
- 5 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の印刷不鮮明等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入してください。
  - ① 受験番号
  - ② 氏名
- 7 問題の内容に関わる質問については、お答えできません。
- 8 「六法」は、貸与する『ポケット六法』以外使用できません。また、毎試験終了後、『ポケット六法』は回収します。
- 9 解答中に解答用紙を毀損した場合、手を挙げて監督者に知らせてください。監督者の確認後、新しい解答用紙と交換します。
- 10 携帯電話等は、時計としての利用も認められていません。必ず電源を切り、鞆などの中にしまっ、身につけないでください。
- 11 試験開始後、終了まで原則として退室は認めません。
- 12 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。いかなる理由でも解答用紙は、持ち帰ることはできません。
- 13 体調が悪い場合は、手を挙げて必ず監督者に伝えてください。

問 次の事例を読んで、以下の設問に答えなさい。

Yは、X名義の預金通帳と届出印の押印された預金払戻請求書を用いて、A銀行のB支店に対し、普通預金全額120万円の払戻しを請求した。対応にあたった行員Cは、YをXであると誤信して120万円を払い戻した。しかし、実際にはYは、Xの自宅から当該預金通帳と届出印を盗み出したものであり、当該預金に関してXから何らの権限も与えられていなかった。なお、本件払戻しは、Xが警察やA銀行に盗難にあった旨を届け出る前になされたものとする。

【設問1】 YをXであると誤信したことについてCが善意かつ無過失であった場合、XはYに対し、不当利得として120万円の返還を請求できるか。

【設問2】 YをXであると誤信したことについてCが善意かつ有過失であった場合、XはYに対し、不当利得として120万円の返還を請求できるか。